

第1回 遊佐町生涯学習センター改築検討委員会 議事録

○開催期日 令和8年2月26日（木）午後2時30分～午後4時

○開催会場 遊佐町生涯学習センター 大会議室

○出席者 委員：服部正規委員、常田俊哉委員、鈴木陽子委員、
伊原ひとみ委員、菅原聡委員、佐藤憲三委員、
菅原寛委員、白旗希実子委員、本間美智委員、
高橋良彰委員、佐々木康幸委員、安藤希祥委員、
村上亜也委員、土門敦委員（教育長）

町 長：松永裕美町長

事務局：荒木教育課長、菅原社会教育係長、境主任

教育課長	皆さん、こんにちは。本日は大変皆さんお忙しいところ、ご参加いただきまして大変どうもありがとうございます。 本日は第1回の会議ということで、今後の皆さん待望の生涯学習センターの改築に向けた検討の第一歩のとなりますので、顔合わせも含めまして、今後のスケジュールとか課題等共有しながら、皆さんから様々なご意見をお聞かせ願えればというふうに思っております。 それでは第1回遊佐町生涯学習センター改築検討委員会を開催いたします。 それでは最初に委嘱状の交付を行います。委員につきましては、遊佐町生涯学習センター改築検討委員会設置要項第3条により町長に委嘱をいたします。尚、任期につきましては、要項2条に定める事項終了するまでということで、生涯学習センター改築に関すること、これが終了するまでとなりますのでどうぞよろしくお願いいたします。 それでは委嘱状交付になりますけれども、こちらにつきましては、代表受領とさせていただきます。検討委員の皆様の名簿は次第の裏側に掲載しておりますので、ご確認をお願いします。 では代表といたしまして、名簿のNo.1の服部正規様より前にお進みいただいて委嘱状の交付をお願いいたします。
委嘱状の交付	
教育課長	他の皆様の委嘱状につきましては、机の上に置いてある封筒に入っておりますので、ご承知いただければと思います。 それでは、3番町長挨拶に移りたいと思います。それでは、松永町長よりご挨拶をお願いいたします。

町長	皆様こんにちは。今日は、お忙しい中時間をこのように頂戴しますことを心から皆様にお礼を申し上げます。 遊佐町では、今度第9期遊佐町の総合発展計画を策定いたしますが、未来に向けて計画的に良い町にしていきたいという指針でございます。 今日は、生涯学習センターの改築検討委員会ということで、実は私が議員をしていたころから、たくさんの町民の方からご意見をいただいていたところでございます。 令和6年7月25日の水害で遊佐町は中々厳しい状態に追い込まれているのは、隠し事がない事実でございます。プラス先人たちが一生懸命作ってくださった建物、様々なものが老朽化しております、これも事実でございます。まずはこの事実をみんなで考えて、これからどうやって町を再生していくのか、どうやって人口減少を緩やかにし、1700ある自治体の中で生き残りをかけて存続していくのかを是非今日スタートとして話あっていただければと思います。 私は町の長としていろいろなところに行きますがよく言われることが「遊佐はいいの〜海も山も川も何でもあって」。この言葉って、本当に有難いのですが、例えば災害があれば津波のことも心配しなければいけませんし、例えば鳥海山のおかげで生きている中でも様々な経費が掛かります。大きな物を持っているということは、町民の皆様からもご協力をいただかないことには、職員と私たちだけでは出来ないこともございますので、お力添えをいただきたいと思っております。皆様の意見が未来を作りますので、ここにいらっしゃる皆様の一言一言を大事にして参ります。 実は本日、防災士の研修会が初めて遊佐町役場で開かれます。防災士になってくださった方、防災に力を入れる方が役場で結集会をします。こちらは生涯学習センターの建築のチーム、本当にいろいろな方が自分の時間を割いて頑張ってくれているから、今の町があると思っておりますので、先人の方たちの思いも胸に秘めながら、壊すことは作ること、作することは未来までそのいろいろな事を背負うことだということを認識の上、今日は皆さんからのご意見を賜りたくよろしくお願いいたします。 では私からの挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。
教育課長	ありがとうございました。松永町長につきましては、別の用務がありますのでここで退席とさせていただきます。よろしくお願いいたします。 続きまして次第4番の自己紹介に移って参りたいと思います。本日は

	第1回目の検討委員会となりますので、皆様より自己紹介いただければと思っております。次第の裏面の方に名簿掲載しておりますけれども、名簿の1番の服部様の方から順にお願いできればと思います。尚、本日名簿4番の遊佐小学校長の梶原勝先生は校務で欠席となっておりますので、ご承知いただければと思います。 それでは、服部様の方からよろしくお願いいたします。
服部委員	社会教育委員をしております。服部正規と申します。どうぞよろしくお願いいたします。
常田委員	2番常田俊哉です。中学校と遊佐高校の方でPTAをしております。よろしくお願いいたします。
鈴木委員	3番の鈴木陽子です。社会教育委員と名簿に載っております、いろいろな会議や団体の活動しております。 よろしくお願いいたします。
伊原委員	皆様、こんにちは。5番の伊原ひとみでございます。遊佐町議会議員、文教産建常任委員会の委員長という立場で、今回出席させていただいております。所管が今回教育課ということで所管担当ということで出席しております。どうぞよろしくお願いいたします。
菅原聡委員	名簿の6番です。稲川地区の区長会長をしております、町全体の区長連絡協議会の副会長ということで、今回委員の方になっております。 よろしくお願いいたします。
佐藤委員	皆さん、こんにちは。遊佐地域づくり協議会の佐藤と申します。唯一ここに間借りさせていただいております。私も遊佐出身で50年生涯学習センターと同じであちこちガタがきておりますが、何とか頑張っております。よろしくお願いいたします。
菅原覚委員	はい。こんにちは。認定こども園杉の子幼稚園の菅原覚と申します。 どうぞよろしくお願いいたします。
白旗福委員長	9番の白旗希実子です。東北公益文科大学の方で生涯学習論を担当させていただいております。勉強させていただきたく存じます。よろしくお願いいたします。
本間委員	名簿の10番に載っております、遊佐町芸術文化協会の本間としです。 よろしくお願いいたします。
高橋委員	11番の高橋良彰と申します。遊佐混声合唱団に所属しております。念願のセンター改築に際し、特にホールに関してこれまでの経験から意見を出していきたいです。どうぞよろしくお願いいたします。
佐々木委員	皆さん、こんにちは。12番の佐々木康幸です。一般社団法人遊佐町

	総合型クラブゆずの企画マネージャーをしております。当クラブは10年ほど経過しまして、学習センターの方も利用してやっています。よろしくお願いいたします。
安藤委員	皆さん、こんにちは。東北公益文科大学3年生青年代表として呼ばれたそうです。普段は遊佐の駅前の方、おでこベースっていう中高生の場所づくりをしているのですけれども、大学生の視点から何かお手伝いできればと思っています、よろしくお願いいたします。
村上委員	皆さん、こんにちは。名簿14番の遊佐町社会福祉協議会の方から来ました、村上亜也と申します。どうぞよろしくお願いいたします。
土門委員 (教育長)	最後15番。教育長の土門と申します。日頃より教育委員会に対するご理解ご支援ありがとうございます。 先ほど、荒木課長より待ちに待ったと言葉ありましたし、町長より様々な意見を伺っていた、ただ、今水害も経験して財政的にもと話ありましたが、今、新道の駅PATが本格的に建屋の方を作り始めますけれども、それが一段落したら、今度はこちらの改築工事の方になるのかなと考えております。より良い学習センターなるためにも、それをぜひ皆さんと一緒に作っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。
教育課長	はい。それでは、事務局の自己紹介いたします。教育委員会教育課長の荒木茂と申します。教育課長2年目となりました。どうぞよろしくお願いいたします。
社会教育係長	事務局の社会教育係の菅原悠と申します。どうぞよろしくお願いいたします。
社会教育主任	同じく事務局の境直子と申します。日頃様々な点で皆様に大変お世話になっております。どうぞよろしくお願いいたします。
教育課長	はい。それでは、以上で自己紹介の方終わります。これからどうぞ皆さん、よろしくお願いいたします。 続きまして次第の5番。委員長の選出を行いたいと思います。こちらの要項の第5条におきまして、委員長及び副委員長を検討委員会におくとなっております。こちら委員長及び副委員長に立候補したいという方は、いらっしゃいますでしょうか。 いなければ事務局の方から、提案してよろしいでしょうか。 それでは、事務局の案といたしまして、委員長にAさん、それから副委員長にBさんで提案いたしますけれども、皆さん、いかがでしょうか。 <拍手> それでは拍手で承認ということでしたきましたので、これからどうぞよろしくお願いいたします。

	それでは早速ですけれども、委員長のAさんよりご挨拶お願いいたします。
A委員長	はい。只今、ご指名いただきましたAと申します。進行を務めてまいりますのでご協力よろしくお願いいたします。以上です。
B副委員長	副委員長を拝命いたしましたBです。遊佐町のこと、これからどんどん知りたいと思いますので、どんどん教えていただけたらと思います。よろしくお願いいたします。
教育課長	ありがとうございます。それでは6番、協議の方に移って参りたいと思います。協議の進行ということで、議長につきまして要綱6条によりA委員長方からお願いいたします。よろしくお願いいたします。
A委員長	はい。では、よろしくお願いいたします。今回の方から私のご意見をお聞きしたいと思いますのでよろしくお願いしたいと思います。では早速、協議の方入らせていただきます。(1)生涯学習センター改築についての検討体制について事務局よりお願いいたします。
事務局	はい。事務局から説明する前に、資料の確認をさせていただきます。事前に送付させていただきましたが、まず次第の裏面に名簿がございます。 資料1～4、要項、遊佐町生涯学習センター改築検討委員会設置要項、あとクリップ止めになっております遊佐町中央公民館というふうになっているものと、あと生涯学習センターの施設概要、ホームページから印刷したものを、お送りさせていただきましたが、ございますでしょうか。 では、(1)の方、資料1の方説明する前に、生涯学習センター改築検討委員会設置要綱の説明をさせていただきたいと思います。要綱をご覧ください。 第1条 遊佐町生涯学習センター改築検討委員は、遊佐町生涯学習センター改築事業に関し、必要な事項審議するため第3条にある各号に委嘱させていただきました。1号から5号については次第名簿の方に記載されておりますのでご覧ください。委員の皆様の検討内容といたしましては、第2条ありますように遊佐町生涯学習センター改築構想改築基本計画、改築に関することであり、任期についてはこれらが終了するまでとなっております。どうぞよろしくお願いいたします。 では(1)遊佐町生涯学習センター改築についての検討体制について、資料を使って説明いたします。事前にお配りしておりますので、簡単に説明させていただきます。 遊佐町生涯学習センター改築についての検討体制につきまして、遊佐町生涯学習センターは町民の利用はもちろん、町業務についても様々利

	用されていることから、町民と町側それぞれ提案意見を基本構想、基本計画、基本設計に反映したいと考えております。 「町民等」としましては、遊佐町生涯学習センター改築検討委員の皆様というふうになります。ほか「町民等」に関しましては、町民アンケート、町民ワークショップ、町民説明会等、基本構想、基本計画のパブリックコメントなどから、町民等の皆さんからご意見いただくような形で考えております。 町職員側としましては、生涯学習センター改築に向けて各課の課題抽出とありまして、こちらが資料に記載されております。 あとは、町職員によるプロジェクト会議とございまして、こちらはスケジュールのところで詳細は説明させていただきたいと思います。 また、課長会議ということで、町職員に関してはこれらの3つを含めて検討していきたいと考えております。町民等と町職員がそれらの意見等で共有し、基本構想、基本計画、基本設計の策定に検討していきたいと考えております。資料についてですけれども、今年度の11月に遊佐町各課へ改築に向けて、各課の課題、課題を解消するために期待される機能、設備まとめたものになっております。 これらの課題については、基本構想、基本計画、基本設計の策定するにあたり、今のところ参考とする資料であり、町職員のプロジェクト会議等でも協議検討する内容となっております。この内容をすべて盛り込まなければいけないのではなくて、あくまで現在考えられる課題ということで、よろしく願いいたします。尚、課題等の詳細内容については、時間がないので説明を省略させていただきます。 (1)の説明については、以上になります。
A委員長	はい。ありがとうございます。今の資料の説明を受けまして、質問なんかどうでしょうか。
G委員	今回改築の検討ということですが、その前の段階でなぜ改築かというようなところを基本的な事情といいますか、そういうことについて例えばハードな面でこういう点で不都合があるとか、あるいはソフトの面でこういうところが具合が悪いとか、いわゆる改築を必要とする根拠があるのかなと思っております。 各課の内容も色々出されているようですが、教育委員会としてこの辺をどういうふうに見ていらっしゃるのか、その辺のところをお聞きしたいと思います。先ほど、挨拶でもありましたけれども、町民の声がとありましたけれども具体的にどういった形で声が寄せられているのか、これから町民のアンケートも考えているようですが、その前

教育課長

に今現段階でどのお話になっているのか、あるいは振興計画の中でどのような議論がなされているのか、その辺を聞きたいと思います。

私の方からご説明を申し上げます。生涯学習センターにつきましては、建築から54年ということで50年以上、半世紀以上経過しております、施設の設備の老朽化や修繕費用の増加、そういったところで安全性や快適性に大きな懸念がということであります。

50年前に造った建物でありますので、当時は最新鋭の建物だったと思いますが、現在は、町民の利用ニーズに十分に対応できないといった側面がございます。また、町民の学び、芸術文化振興、まちづくり、防災の観点から、ますます生涯学習センターの機能が重要になっているところなんです。現在の在り方では、町民ニーズに対応できるのかとか、修繕費用ばかり大きくなってしまって、町の財政大丈夫なのか、例えば建替えすればそれなりに掛かる訳ですけども、どこまで修繕したらいいかといった課題もあるところでございます。そういったところで町民サービスの向上や、町の活性化それから公共施設の維持管理の適正化を図る観点から生涯学習センターの改築を具体的に検討進めていきたいというように考えているところでございます。

今、先ほど町長からありましたパーキングタウン建設、今始まっている中でその後の大きな目玉ということで、町の課題でもある学習センター改築かなというふうに思っております。それからあとは快適性、利便性、ということに関していえば、最近のいろいろなユニバーサルデザインでありますとか、どこの施設にあるようなものが、公共施設として備わっていないという課題もあります。役場新庁舎には授乳室はありますが、生涯学習センターにはないと、「当然生涯学習センターの方が必要でしょ」というような声も出てきます。

それから様々ホール機能につきましては、やはり不具合が度々指摘されていて、大きなイベント開催するにも支障が出てきていると、そういった現状もございます。あと例えばロビー機能につきましても、ここは貸館の施設ということで予約して団体で借りて、それで会議したりというような昔ながらの機能、そういったところを想定して造られている訳なんですけれども、いわゆるフリースペース的な気軽に集まって話し合いをしたり、中高生含めた若者が気軽に集まったりするような場が無いことが課題と感じております。そういった中で、改築検討を今始めていかないと、PATが完成した後となると、対応がやはり後手に回ってしまうのかなというところがあります。

また、各団体の皆様からの要望意見そういった現状を踏まえて、ここ

	3年間の町の実施計画を策定したところです。その計画の中で、今年度から検討行って参りまして、令和9年度に生涯学習センターの基本構想を、令和10年度に基本計画を作っていくといった、今後3年間の生涯学習センターの改築検討に向けた準備を行っていく年と位置付けました。そういった状況により、今年度から改築検討委員会を進めていきたいと考えているところでございます。 実施計画の中で来年度につきましては、今後のスケジュールでの説明でもございますけれども、生涯学習センター改築に関しての町民のアンケート、これは生涯学習推進計画策定のためのアンケートと一緒に作業をしていきますけれども、そういったアンケートを実施していきたいと計画しております。それらの費用や基本構想策定に関する費用、令和10年は基本計画に関する費用を今後3年間の財政計画の中にも盛り込みさせていただきました。基本計画策定では、いつ頃までこの改築を終了させるのだという目標といいますか、当然財政計画も出てきます。どのくらいの規模にしていくかとか、そういったところも出てきますので今後3年間で、生涯学習センター改築するまでの道筋をしっかりとつけていきたいと考えており、生涯学習センター改築検討委員会を開催させていただいたというところでございます。 これから始まりでありますので、様々な意見をいただきながら、是非良いものを作って参りたいと考えているところです。以上でございます。 A委員長 G委員 はい。ありがとうございます。ほかに質問ある方いますでしょうか。 もう1点、20数年前に子どもが人口の推移を計算したときに、2045年でしたか、人口が8,000人くらいになるようでした。そうしますと、その時の生涯学習センターの利用者数の数も当然変わってくると思われます。そうした段階で今までのセンターの利用の数的な把握、いわゆる利用者数あるいは利用日数、どういう団体が利用してきたのかというような数的な把握が当然、こらからの構想や計画の中で必要になるのではないかと思いますので、数値をどこまで遡るかということもありますが、数的な把握をお願いしたいのかなと思います。以上です。 A委員長 はい。ありがとうございます。これは意見ということで承ります。ほかに質問、ご意見ある方。佐藤委員お願いします。 H委員 はい。お願いします。資料2のヒアリングを実施した内容ですが、危機管理係からの要望ですが、まち協の要望内容も記載されている。そういった場合、この内容でヒアリングを提出するとか、そういった調整が欲しい。知らないところでヒアリングをしてまち協の意見を出しており面白くないと感じる。報連相をしっかりしてもらいたいと思う。
--	--

A委員長	ご提案ありがとうございます。他にご意見質問ある方おりますでしょうか。無いようですので、進めさせていただきます。続きまして（２）の遊佐町生涯学習センター改築検討におけるスケジュールについてお願いします。
事務局	それでは資料３をご覧ください。先ほど、課長からもスケジュールの説明がありましたが、資料３で説明いたします。遊佐町生涯学習センター改築検討におけるスケジュール令和７年度から令和１０年度までとなっております。 今年度１１月に遊佐町生涯学習センター改築検討委員会設置要綱を制定いたしました。 また１１月２５日にセンター改築に関して、資料２にもございましたが、課題を抽出しまして、課題を受けて事務局で委員の選定を検討させていただきまして、委員の選出依頼をさせていただいたところです。 また２月の課長会議において各課の改築における検討課題と検討委員について報告をしたところです。２月６日に検討委員が決定し、本日第１回遊佐町生涯学習センター改築検討委員会が開催されることとなりました。 令和８年度につきましては、今時点で予算要求の段階ですが、スケジュールとしましては右側の欄にございます施設調査、アンケートの実施、視察を計画しております。具体的には４月に遊佐町生涯学習センター調査業務委託とございまして、建物の劣化調査、こちらの施設は、建設から５０年以上経っておりまして長寿命化と意味合いは、ちょっとそぐわないのですが、長寿命化した場合にどのくらい経費がかかるかを算出するような委託を考えております。先ほど、Ｇ委員の方からハード面の改築の根拠はとのご意見、ご質問いただいたところですが、こちらの方の調査でハード面の改築の根拠が出されるのかなと考えております。６月頃に町民アンケート、こちらは生涯学習推進計画が令和１０年度から計画期間となりますが、こちらのアンケート調査を来年度実施しますので、そちらと一緒に実施する予定としております。詳細については資料４（３）の方で説明いたします。 また９月頃、第２回の委員会開催させていただきまして、１１月から１２月頃、どちらかに視察したいと考えております。また、１月から２月の間に第３回委員会と考えております。 次年度も、課長会議等で随時、検討委員会等の報告させていただければと思っております。 次に令和９年度ですけれども、基本構想策定、町民ワークショップの

	実施考えております。遊佐町生涯学習センター基本構想策定につきましては、委託を想定しております。6月から7月にかけて町民ワークショップ2回程度実施できればなということで想定しておりまして、検討委員の皆様からご参加いただければと考えております。裏面をご覧ください。9月頃ですけれども、遊佐町生涯学習センター改築プロジェクト会議規定の制定とございまして、先ほどの資料1の方で町職員中でも、プロジェクト会議作り、こちらで生涯学習センターの改築について検討していきたいと考えております。プロジェクト会議は令和8年度段階ではなく、基本構想案等が出た時点で町職員からプロジェクト会議のメンバーを選出しまして会議が出来ればと考えております。同じく9月に第4回の委員会、こちらの方ではワークショップの報告やプロジェクト会議、町職員のプロジェクト会議について、また基本構想案についてお出し出来ればと考えております。 10月に第1回プロジェクト会議、11月から12月に基本構想のパブリックコメントの実施、1月に第5回検討委員会2月から3月について基本構想が策定出来ればと考えております。 また随時で町民への説明、課長会議等への報告を行います。令和10年は基本計画を策定する計画をしております。こちらでも委託を想定しております。9月から10月に第6回の検討委員会、同じく第2回のプロジェクト会議11月から12月にパブリックコメントの実施、1月頃に第7回の改築検討委員会、2月から3月で基本計画の策定と考えております。 令和10年度に関しましては、予算要求等もありますので、だいたいのものとはなりますが、こういった形で進めることが出来ればと考えております。あと建設に関してですけれども、いつ頃建てるのかというご質問があるかもしれませんが、財政的なところもありますので、現時点では建設完成までのスケジュールが不透明であります。そういった状況により基本計画策定までのスケジュールでお出しさせていただきましたので、よろしくお願いいたします。説明については、以上となります。
A委員長	はい。ありがとうございます。今の説明に対して、ご意見ご質問ある方いますか。皆さん、いかがでしょうか。
F委員	スケジュール間の説明ありがとうございました。予定としては、3年間でのご説明をいただいたのですが、先ほどの資料を見ますと検討委員会も入る、社会福祉協議会も入る、防災センター機能もといった内容の資料でしたので、建て替えではなくて、色々な施設というか色々なものが一緒に入るとなると、この3年間で全て含めた形での改築は、上手く

A委員長 教育課長	いくのかな、出来るのかなとすごく不安になったんですが、例えばこの委員会が3年じゃなく、4年5年に延びる可能性がおりになるか、お聞きしたいと思います。 事務局お願いします。 はい。お答えいたします。まず今のところ、今後3年間のスケジュールということでお出しさせていただきました。施設の複合化、集約化という考えですが、今後の検討の中でどこを集約していくのか、そういった部分を今後の検討委員会の中でいろいろ議論していく必要もあると思っています。 しかしながら、施設が大きくなると、当然その建築費用の検討などが出てきます。それらを含めて、改築計画の策定につきましては、例えばコンサル業者の方へ委託も考えておりますし、建築関係専門家等も入っていただきたいと考えております。なるべくこのスケジュール間で基本計画の策定まで出来るように進めていければと考えております。その後、いつ改築するのかが一番重要なところとなりますが、まずは計画の策定までは、このスケジュールで完成させたいというのが今の事務局の希望でございます。以上です。
A委員長	はい。ありがとうございました。とりあえず計画までということで、よろしくお願ひしたいと思いますが。 質問ご意見ないでしょうか。 私からいいですか。今使われているまち協さんとか、そういった方からのヒアリングは？
事務局	今現時点では役場担当課職員のヒアリングのみを実施しております。ヒアリングの内容については「教育施設としてどのように建設していくか」という視点で、検討委員会へ共有させていただいておりますが、こういった団体さんにも聞いた方がいいのではないかなとか、そういったご意見がありましたら、ヒアリングは実施していかなければいけないと考えております。以上です。
A委員長 事務局	はい。ありがとうございます。了解しました。質問ないようですので、次にいかさせていただきます。 はい。それでは資料4をご覧ください。スケジュールでも説明いたしました、令和8年度に町民の方に対して、遊佐町生涯学習センター改築に係るアンケート考えております。先ほども説明しましたが令和10年度から遊佐町生涯学習推進計画の計画期間となりますので、そのアンケート調査と一緒に出来ればと考えております。資料4にございます通り、調査の目的は現在の遊佐町生涯学習センターの利用状況や施設に対

	する考えを調査するとともに、利用しやすい遊佐町生涯学習センターとしてどのような設備を求めているか、アンケートにより確認したいと考えております。 またアンケートの結果を町民の意見ととらえて遊佐町生涯学習センター基本構想や基本計画に活用したいと考えております。実施につきましては、令和８年度内に考えております。アンケート実施時期は、だいたい６月頃、業者委託での実施を考えております。調査対象者は１６歳以上の町民となっております、こちらは平成２８年度に計画を策定したときと同じ対象となっております。標本数は今現時点で１，５００人を考えております。生涯学習推進計画のアンケートは２０ページくらいを想定しているものですが、その中に遊佐町生涯学習センター改築に係る質問ということで、事務局案としては①から⑧まで内容を考えたところです。①については平成２８年度調査のときも、同じ内容で調査した内容となります。利用頻度やどのような目的で利用したかというのが、平成２８年度と調査が同じでありまして、新しく追加したものとしましては、⑥の改築する場合、どのようなことに重要視しますかとか、改築する場合、加えたい機能ありますかというふうに追加させていただいたところです。事務局案としてはこの内容で考えているのですが、こういった内容を付け加えた方がいいのではないかとか、この内容はちょっとどうかということがありましたら、是非委員の皆様からご意見いただけたらと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。
A委員長	はい。ありがとうございます。それでは、只今の説明について、ご質問よろしくお願いいたします。
I委員	アンケートについて、何点かあるのですが、１点目はこの改築に関わるセンターのアンケートに向けて、出来れば年代が分かるようにしていただければ有難いと思います。子育て世代のとか、僕くらいの年齢とか、おそらく人口的には高齢者が多いので、高齢者向けにならない形、本当に平均した形でみられるように、だからこそ集計もたとえ少数であっても、その意見を活用するというアンケートの見方が必要なのではというふうに思っています。 ２点目はアンケートの方法なのですが、若い世代だったら本当はスマホでアンケートが取れるような形がベストだと思いますし、データ集約するようであればその形がいいのかもしれませんが、やっぱり紙ベースが一番かなと思ってしまいますが、若い人達はＱＲコードでとってのアンケートは活用しやすいのかなというところで、アンケートの取り方についてもご検討いただければ有難いと思います。内容については、本当にこの内

A委員長 事務局	容でいいかなと思います。以上です。 はい。ありがとうございます。事務局の方から。 はい。ありがとうございます。アンケートの集計方法、アンケートの取り方について、業者委託となりますので、業者と調整しながら、ご意見について検討していたします。ありがとうございます。
A委員長 K委員	はい。ありがとうございます。お願いします。 私はホールについてアンケート内容に取り入れてもらいたいと思います。
事務局	はい。ありがとうございます。内容についても今後検討したいと思えますのでよろしくお願いします。
A委員長 I委員	はい。ありがとうございます。他にありませんか。 アンケートの取り方で結構方向性が決まりそうなので、慎重にやっていただきたいと思います。でもアンケートが全てでないとは思いますが。この施設を使うのでこの施設を貸してくださいという形から、自然と居場所となるような、ロビーというような、そういうような活用の仕方へなど。どのようにアンケートとるのかわかりませんが、要は利用率であったとして沢山の方が利用できる施設。年に1回利用の方がまた活用できるような施設でない。つまり建物の足し算ではなくて重なっているようなそういう施設の在り方、いわゆるそんな利用だと思うのですけれども、その方向性に向けたアンケートの取り方とっているので、施設をどういうふうにもっていくのか、多機能化という話ありましたけれども、そういうことも含めて、足し算ではなくてまず重なっているということと合わせて、貸す施設ではなくて関わる施設になっていくような、そんなイメージを持っています。それをアンケートに集約するかわかりませんが、そんなイメージでいますので検討していきたいと思います。以上です。
A委員長 教育課長	はい。ありがとうございます。 ありがとうございます。新しい学習センターに期待する機能というようにところで、アンケートでも、「加えたい機能はありますか」といった設問を設けております。アンケートを充実させ色々な意見を拾っていければと思っております。
I委員	ワークショップなどでも話合えればいいかなと思います。
A委員長 M委員	はい。ありがとうございます。他に質問ある方。お願いします。 すいません。質問ではなくて、感想とはなるのですけれども、もし私が高校生だったり大学生だった立場でこのアンケートを配られた時に思うこととしては、私は大学で生涯学習について関わったのですけれど、

A委員長 事務局	生涯学習という視点からアンケートを見たときに、自分はなんて答えたらいいか分からなくなったり、ピンとこないというところが正直あって、機能的な部分についての質問は凄く沢山あって、今よりもアップデートされた、プラスされたイメージが沸くと思うのですけれども、そもそも生涯学習センターをまだ使ったことがなくて、まだ関わったことがない子については、なんて書いたらいいか分からなし、何をどうしたらいいのか分からないなと感じるのではと思いました。質問について、こうしたらいいとか具体的な提案はないのですけれど、前提に生涯学習とはとか、生涯学習センターの価値とか、県の方針などが載っていると、そういう視点で答えればいいのかとか、そういう意味合いだったらこういう機能欲しいな、と私だったら、考えやすいなあとと思いました。 貴重なご意見ありがとうございました。 ありがとうございます。そうですね。「生涯学習施設」と聞いてもどう捉えてよいかわからない方も多いと思うので、町として生涯学習施設は、こういう機能を持つ施設だよというような説明を記載しながら、アンケートを取りたいと思いました。ありがとうございました。
A委員長	ほかに。ないようですので、次に意見交換になります。様々のご意見あると思いますが、現時点で大枠は決まっていない中で、中々意見を出しにくいと思うのですけれどもよろしくお願いします。
J 委員	利用している人にとってはこうあってほしいという思いもあると思いますが、やっぱりここを大きく建替えてこれからを見据えていくという視点に立つ必要があるのかなと思いました。私は遊佐町生まれ遊佐町で育って、それで委員というのをやらせていただいて、やっぱり集う場っていうのが欲しいと思います。あとは子どもたちが気軽にいられるというか、そういうのが遊佐町は、広いからっていうのもありますし、交通網がそんなに発展している訳でもないし。各公民館っていうものがあったときは子どもたちがよくそこで遊んでいましたし、小学校中学校になってもそこにいたように思います。今、子どもたちはバスで迎えに来てもらって帰ってきて、自分の地区を歩くときも子どもたちはいなくて、子どもたちはみんなどうしているのだろうかということ時々考えると、今私達が出来ることが、これからの子どもたちに残していく建物として考えた場合は、やっぱり来やすい場所、居たくなる場所、そこで大人も何かしら自分の学びたいことを学んだり、集うようなそういうような建物になればいいのかな。さっき、I 委員がおっしゃたように積み重なってとういうようなのは、あると思います。平面的じゃなくて朝昼晩で考えれば、朝お年寄りが来て、お昼になると誰かが、夜になるとまた

	誰かが、そういうような施設、みんなで知恵絞って出し合ってできるの かなって、漠然とですけど思いました
K委員	音楽団体も利用できる、ホールバックヤードもあり、自分たちも楽し めて皆が満足できる施設が良いと思う。「生涯学習」と考えると難しい。 人口減るとか縮こまらないで夢を与えられる場所であってほしい。
L委員	私の方から現時点の移転としては2点程ですね。生涯学習センターと いうところで、限定的にならないように柔軟にいろいろな方が利用でき るような施設になってほしいなと思っています。これが1点とあと2点 目としては財政面が苦しいというのがあったので、極力修繕した新しい もの、窓にしても新しいものがあったりすると思うので、そういうもの が活用できる、活用できて財政も苦しくならないような改築をしていた だければと思っています。以上です。
M委員	私の方からも2点ですけれども、1点目は本当にさっき話した通りで、 前提、いろいろな世代の方が使えるような施設になってほしいというこ とです。遊佐駅前に2年間、中高生の居場所づくり、放課後の居場所づ くりをしてきました。様々な理由で最近閉めていましたが、そうなる とどうなるかという、開いてるかもしれないなという、わずかな気持ち で来て悲しそうな顔で帰っていくとか、居場所を求めてでも、居場所が ないから結局真っすぐ帰えっちゃうみたいな現象が起きました。私の拠 点の場合は場所が小さいので身内感が強すぎて、中高生全部は含めてな いのですけれど、そもそもその拠点1個で終わらせるのは結構難しい なって気持ちがやっぱりあります。2年間活動をやってきて、やっぱり 遊佐町においては、中高生や、中高生のみならず居場所が不足している なとか、結びつく拠点が不足しているなという実感はあります。ただ、 この生涯学習センターを拠点にそれこそいろいろな団体さんか活動をし ていて、その活動はすごく素敵なものだなと思うので、私としてはそう いう活動に多くの中高生や若者達が結びつけるように出会う町、繋がる 町というところが施設としてあったらいいのかなと思います。以上です。
N委員	私がいる遊佐町社会福祉協議会、福祉センターですけれども、こちら の建物も町の役場建て替えなる前は2番目に、役場の次に耐震がだめな 施設と言われておりました。役場が新しくなり、町内で一番耐震がよろ しくない場所が福祉センターだと認識としております。水害の時も一応 災害の拠点のはずなのですけども、床下浸水しておりました。今回資料 2の方に福祉係より、福祉センターのお話も取り上げてくださって本当 にありがたいなと思っているところです。我々としてはお金がない団体 でございまして、町と相談してどこかに入れていただけるのか、新しく

	建てていただけるのかというのも今後になるかと思うのですが、どの場所にあっても、社協職員としてやるべきことは変わらずやっていきたいなと職員と話しています。町の財政を考えていくということがとても大事になってくるとか思うので、人口規模にあったような建物を複合施設として建てれば人も沢山入るだろうし、単体で建てている自治体もあると思います。同じくらいの規模の自治体で、このような建物を建てている、みたいな具体的にイメージできるような情報もうちょっとあるとアンケートの内容とかも想像しやすいのかなと、思いました。アンケート案を見ると、機能としては全部必要だよな、というふうになりそうなので、おなじくらいの自治体でこういう建物がありますよと教えていただけたら、イメージしやすくそこにかつ遊佐町らしくやっていけるのではないかと、と今の話を聞いて思ったところです。社協としても今後町と相談しながらどこかに入れていただけるのか、混ぜていただけるのかというところは相談させていただければと思っております。
C委員	高瀬地区は、小学校が統合する際に、小学校がまちづくりセンターに変わるということで検討委員をしていました。やっぱり一番大きかったのは子どもたちがいる場所が気軽に来れる場所ということで、検討委員会で進めてきました。生涯学習センターは、子どもたちが外で遊べることはよく見るのですが、中に入って時間をつぶすということがなかなかできない、やりづらいのかなと感じます。他の自治体とかでは自由に使えるらしいですが、そうなれば小中高生とか集まりやすいのかなと思います。以上です
D委員	アンケートについてですが、町民の皆さんにとって「生涯学習センター」というものがまず何をしているのかというのがあんまり伝わってない、いろいろ催しをしても、あまり周知されていないというか、こんな人が関わって興味持ってくださいているのかっていうのもなかなか知られていない。児童生徒の減少もあります、小学校、中学校の連携といいますか、すごくもったいないなというのもあって、地域の方々が、小学校の統合で地域の子どもの姿見えなくなってさみしいという声もよく聞きます。地域にももちろん子どもたちの居場所が必要なのですが、中心部にある施設ということでもっと活用できる何かがないかなというのが改築検討委員会立ち上げに際して思うことです。 アンケートの前に、まずこういう事をしていますという、お知らせをすることがあれば。生涯学習センターだよりなどに、改築について検討しているとか、そのような情報を頻度がそんなに多くなくてもいいのでお知らせするのもよいかなと思いました。

F 委員	はい、やはり将来人口が減っていくということを考えれば、これからの人たちが維持できる規模の建物でなければ、立派なもの作ってもこれからの人達に負担ばかり残していくようなものであれば、ここは考えていかなくちやいけないのかなという風に思います。今回まだ一回目ですので、協議はこれからということとは思いますが、行政的な機能を集める複合的な施設を目指すのか、町民が使いやすい、町民が集まれるようなスペースを主として進めるのか、少し的を絞った考えを持ちながらの検討委員会をしていかなければと思いました。これから維持していくという事も考えて検討していかなければと思いました。以上です。
G 委員	資料でいただいた遊佐町中央公民館のチラシ見ました。まだ駐車場の整備もされていない、出来立ての頃の写真、それが昭和 46 年にできたことで、私高校生の頃だったと思います。50 数年この建物が使われてきたということですが、大きな改築というのはおそらくなかったのではないかなと思います。かなりお金をかけた部分もあるわけですけども、50 数年これを使ってきたと思います。これは何でかなと思うんですけども、やっぱりその技巧をこらした建物ではなくて、シンプルなものにしたというのがあったと思いますので、負担がかかるような、趣向を凝らしたような、この建物はなんだ、一体どれくらい金かかるのかという建物は、私はちょっと建てるような建物ではない方がいいのではないかなという気持ちでいます。
H 委員	例えば複合化とか多機能化とか、利用団体の関係機関、利用している団体のそれぞれの思い、意向はあると思いますけれど、その辺のバランスをどの程度とっていくのがすごく大事な感じでとらえています。 はい、私ども遊佐地域づくり協議会は多分みなさんの中では一階から三階まで年間を通してほとんど利用させていただいている団体だと思います。小学生から高齢者まで、そして日々の中でこういうところ塩梅いいな、こういうところ塩梅悪いな、と日々いろいろ感じています。 遊佐地域づくり協議会では昨年、第 2 回目のまちづくり基本計画を策定して、これからさらに五年後を構想して色々な施設の中身だとか、事業だとか調整をしております。 平成 24 年から 30 年その時は、まちづくりセンター、将来はこうあるべきだというのが、今とは違う部分もあるだろうし、そういうのを比較して、何十年後を想定して現代にあったものを検討していければと思います。
I 委員	実は私も小学生の時に、担任の先生が、当時中央公民館ができたんだよ、なんと二億円かかったんだ、って言ったんですよ。それすごく印

	象的でした。その中央公民館がいろいろ、この改築の検討委員会に私が入っているのかと思うと、申し訳ないなと思っているのですが、今まで話に合ったとおり、やっぱりシンプルさ、ちょうどよく長く使えるもの、これが責務だと思います。持続可能な形の方がいいのかな。要望が本当にいっぱいあると思うのですが、本当にシンプルさでいきますよ、ということで通せば3年間でまとまるんじゃないでしょうか。
B副委員長	アンケートのところで、16歳以上になっていたので、小中学生対しての意見を聞く場があってもよいのかな、ワークショップなどがあってもよいのかなと思いました。異年齢交流とか、いろんな人が集まって話し合う、そんな場があるといいかなと思います。 遊佐町のイベントに子どもを連れてきたことがあり、すごくパワーがあってすごく楽しかった。町の人もたくさん、すごく力を持ってらっしゃる方もたくさんいる。そんな方たちと町を作っていけるようなそんな場所になるといいなと思いました。以上です。
O委員	皆様より委員になっていただいて、それぞれの分野では要望があると思いますが、この町の中核施設である生涯学習センターをどのようにもっていかうかという、その理念やコンセプトやビジョンまで話していただいて非常にありがたいなというふうに思いました。今様々なご意見が出てきましたけれども、これからは身の丈の部分で考えていくということ、今遊佐町にとっての町らしさ、遊佐町がどんな方向に進んでいくのか、その身の丈の部分を、これからまた皆様と色々と知恵を出し合いながら、できれば一年でも早くそのような形で改築できればというふうに思います。 ただですね、例えば酒田市の川南の四中学区で義務教育学校というのが進んでいますけども、一足早く登坂小学校に集まって、そのあと宮野浦と四中と義務教育学校ということで、予算についてやはり最初は正確かどうかわかりませんが、50億以内でできそうだというようなところがあつたのですが、それが例えば70億、80億というような一年違うだけですごく上がっていく、新道の駅のPATもそうなのですが、一年違うだけで何億違うっていうそういうふうなこともありますので、本当に色々な見地から要望をおよせいただいたことについて、委員会の方でまとめながら、そしてまた皆様と協力しながら、また、遊佐町に六地区あるわけですので、六地区の皆さん特にまちづくりセンターのみなさんからの声も含めていい形にできればと思いました。よろしく願います。
A委員長	はい、ありがとうございました。改築するということから始まった

	この会議ですけれども、みなさんから建設的なご意見を頂戴いたしまして本当にありがとうございました。協議の方は以上で終わりましたので、事務局にお返しします
教育課長	様々なご意見大変どうもありがとうございました。それでは7番のその他に移ります。事務局より申し上げます。
事務局	事務局で2点ほど説明いたします。一つ目は第2回遊佐町生涯学習センター改築検討委員会の日程についてでございます。こちらの方は令和8年度のスケジュールの方にも記載はしておりますが、9月頃になっております。今回は急遽2月に開催というところで事務局のほうで日程を決めさせていただいたところですが、今後は皆様の日程を調整したうえで開催をし、皆様が出席できるように考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。
教育課長	二点目が委員の皆様への謝礼についてです。今現時点では3月18日に、町に登録しております口座の方に謝礼と費用弁償を支払う予定としておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。なお、町に登録している口座を変更したい等ありましたら、後ほど事務局に伝えていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。以上です。
A委員長	その他、委員の皆様から何か共有したいことはございますでしょうか。
事務局	アンケートについてですけれど、できたものに関して委員の皆さんから意見をいただく場をもうけるのでしょうか。
A委員長	はい、ありがとうございます。アンケートについて、今現時点のものだとやはりわかりづらいということが、みなさんのご意見でわかりましたので、いったんこちらの方で案を作り、今後業者と調整をして、委員の皆さんに案を送付します。その際、質問や意見書もお送りしますので、そちらの方に書いていただいて、返信をいただくという形でアンケートの内容を決めたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
教育課長	はい、ありがとうございます。 ありがとうございます。今後も委員長とも相談しながら進めてまいりたいと思います。また皆様の方からも、随時よろしくお願いしたいと思います。その他、何かございませんでしょうか。 様々なご意見をありがとうございました。新年度になりまして、視察等も検討しておりますので、また皆様からご参加いただきまして、よろしくお願いしたいと思います。それではもし無いうでしたら、これもちまして第1回遊佐町生涯学習センター改築検討委員会を終了とさせていただきます。お忙しい中ご出席いただきまして、大変どうもありがとうございました。